

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	同志社女子高等学校
所在地	京都市上京区今出川通寺町西入
電話番号	075-251-4305

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>新島襄のめざす、キリスト教主義教育・良心教育を行うことを目的とする。</p>																																							
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び将来展望</p>	<p>同志社大学・同志社女子大学の定める条件を満たせば、内部推薦資格を与えられる。他大学も含む理系学部への進学をめざすワイルド・ローヴァーコース（WRコース）と、同志社系列への推薦進学を中心とするリベラル・アーツコース（LAコース）がある。同志社における女子教育によって、広く社会に貢献する心豊かな女性の育成を目指す。</p>																																							
<p>(3)</p> <p>・令和6年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり (なし)</p> <p>・前回改定</p> <p>25 年度</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>考査料</td> </tr> <tr> <td>外部生130,000 内部生110,000</td> <td></td> <td>670,000</td> <td>130,000</td> <td>800,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>670,000</td> <td>130,000</td> <td>800,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>670,000</td> <td>130,000</td> <td>800,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料	外部生130,000 内部生110,000		670,000	130,000	800,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				670,000	130,000	800,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				670,000	130,000	800,000	
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																	
	外部生130,000 内部生110,000		670,000	130,000	800,000	20,000																																		
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			670,000	130,000	800,000																																			
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			670,000	130,000	800,000																																			
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>共学化・少子化等厳しい状況にはあるが、経営環境の改善のために人件費や内部管理経費の削減に取り組む。納付金については値上げを行わず、据え置きとする。言うまでもなく収入は、生徒に対してよりよい教育環境を提供するために充ててゆく。</p>																																							
<p>(4)</p> <p>教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>教育内容については、英語教育に一層の充実をはかり、TOEICを全学年で実施している。また、安全な教育環境を保つため、既存校舎の改良に努める。ICT教育設備の充実を図り、教育の質をさらに高める。</p>																																							
<p>(5)</p> <p>令和6年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>従来からの姿勢（低所得者世帯の負担軽減）を変えることなく、保護者負担軽減策の検討を行う。なお、学校独自の奨学・修学支援制度は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同志社女子中学校・高等学校奨学金、古田務奨学金、金岡利子奨学金</li> <li>・同志社同窓会奨学金、ミス・デントン記念奨学金</li> </ul>																																							
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>引き続き財務体質の強化、経営環境の改善を図りつつ、生徒・保護者・社会に対して魅力ある同志社女子高等学校像について、学内はもとより学外・地域社会にも意見を求め、寄付金の増収につなげることも検討している。以上を通じて可能な状況となれば、保護者負担削減策の追加策定に取り組みたい。</p>																																							